

2005年10月～2006年3月

- 10月5日
・町議会議長に伊藤福章氏選出
- 10月7日
・仙南東小学校創立130周年記念式典行われる
- 10月15日
・第1回中学校新人駅伝競走大会実施

10月29.30日
・美郷フェスタ2005を六郷地区で開催

11月1日
・美郷町誕生1周年
・要保護児童対策地域協議会を設置

11月5日
・東京都大田区と「友好都市連携」および「災害時における大田区と美郷町との相互応援に関する協定」(防災協定)を締結

11月23日
・仙南西小学校創立130周年記念式典行われる

12月
・「美郷町男女共同参画計画みさと計画」を策定

12月17日
・マーチングバンド・パトントワリング全国大会に6年連続で出場した六郷中学校吹奏楽部が銀賞を受賞

12月20.21日
・「美郷町としての望ましい行政区の姿」を推進するため、行政協力員説明会実施

1月
・町勢要覧完成

1月5日
・「平成18年豪雪」で豪雪対策本部を設置。最大積雪深は千屋善知鳥坂観測点の185cm。除雪車の出勤回数は前年比13回増の延べ56回

2月
・福祉医療制度、平成18年2月診療分から、就学前までの乳幼児の医療費が無料に
・雁の里山本公園 管理休憩棟整備完了

2月27日
・「美郷町町民歌」を制定
作詞 滝田常晴 作曲 津雲 優
・「美郷町イメージソング」制定
作詞 南 英市 作曲 津雲 優

2月7日
・地域が一体となって子どもたちの安全を守ろうと「子ども見まもり隊」ボランティアを結成

3月
・「美郷町地域防災計画」を策定
・「行政経営プラン」「行財政改革大綱」「集中改革プラン」策定
・「美郷町社会教育中期推進計画」策定
・誘致企業ガイド発行
・黒沢地区簡易水道整備事業整備完了

・町内3つの小中学校で耐震補強工事実施
・町内3地区にある施設や行事、文化に触れる、美郷めぐり「春」「夏」「秋」「冬」の年4回行い、延べ108人が参加



「美郷町総合計画を策定」

「美郷がいちばん、すきです美郷」

美郷町の将来像「町民の誰もが住んでよかった、住みつけたいたいと思えるまち」を目指して

キーワードは「共助・共生・創意・安定」

美郷町のまちづくりを総合的かつ計画的に進めていくため、その基本的な方針や将来像、目標を掲げ、その実現のための主要施策や施策事業を推進する「美郷町総合計画」が8月30日から開かれた町議会定例会で可決されました。

この総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3編から構成されており、平成17年度を基準年度とし、目標年度を平成26年度と設定した10年間の計画となっています。

将来像へのキャッチフレーズ「美郷がいちばん、すきです美郷」

その将来像を実現していくためには、町民ニーズを的確に把握し、地域や年代を超え相互に理解しあいながら費用対効果を十分に見極めたうえで、事業を実施していくことが必要であるとともに、行政が何をするかということだけではなく、町民一人ひとりが美郷町の「員」として何ができるかを考えていかなければなりません。そのため、町では行政も町民もまちづくりの主人公として「美郷がいちばん、すきです美郷」という自覚をもって、町民と行政が一体となってまちづくりを進めていくことを目指しています。

男女共同参画「みさと計画」を策定

男女共同参画社会の実現に向けて、「男女の人権を等しく尊重します」「男女とも自らの意志を反映できる地域社会を創設します」「男女が共同参画することの意義を認識します」という3つを基本理念とし、「みさと計画」に添って男女が互いを認め合い、分かち合い、支え合う男女共同参画のまちづくりを進めるための目標と施策の方向を示すとともに、住民、事業者、行政の今後の取り組みのあり方と、それらを推進するための体制づくりについてまとめました。

まちづくりの「8つの目標」

- ・ 快適なまち
- ・ 自然にやさしいまち
- ・ 健やかなまち
- ・ 心豊かなまち
- ・ 人がふれあうまち
- ・ 活力のあるまち
- ・ 安全で安心できるまち
- ・ 町民主体のまち

将来像を実現するための基本理念として「共助・共生・創意・安定」を掲げるとともに、それぞれの分野で将来像を実現するための8つの基本目標を定めました。

町民歌「光あふれて」とイメージソング「若いいぶき」を制定

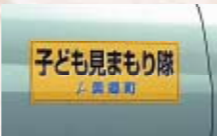
町民歌の歌詞は、平成17年9月20日から10月31日まで全国から公募し、41の応募作品の中から町内有識者5人による町民歌歌詞選定委員会が選定し、補作や字句の修正を行い、町が決定しました。

イメージソングについては、当初制作の予定はなかったものの、選定委員会による選定の過程で、最終的に町民歌の候補として残った2作品がいずれも秀作であったことから、イメージソングとして採用し、制作することとなりました。

地域が一体になって子どもたちの安全を守る「子ども見まもり隊」ボランティア結成

町では、地域が一体となって子どもたちの安全を守る「子ども見まもり隊」ボランティアを結成しました。広報紙などを通じて協力を呼びかけ、趣旨に賛同した町民、町内の企業、団体、行政関係者などで組織されています。隊員の主な活動は、町が制作した「子ども見まもり隊」のマグネット式のステッカーを車の車両のドアに貼り付けて町内を走行し、登下校や放課後の児童生徒の安全を見守っていたくこと、万が一不審者を見かけた場合は関係機関に連絡するほか、緊急の場合は車に保護するなどとしています。

子どもたちが安心・安全に暮らすことができるよう子どもを狙った犯罪の未然防止に、町全体で取り組んでいます。



「友好都市提携」と「防災協定」を締結 美郷町と東京都大田区

本町と東京都大田区は「友好都市提携」および「災害時における大田区と美郷町の相互応援に関する協定」(防災協定)を締結しました。

東京都大田区との交流は、同区に六郷という地名があることから「六郷」つながりで旧六郷町との間で平成3年からスタート。以来、旧六郷町では大田区に出向いて物販交流を行い、大田区六郷からは子どもたちが雪国体験に訪れるなどの交流が毎年続いていました。今回「友好都市」の締結により、この交流をさらに深めていくものです。



豪雪対策本部を設置平成18年豪雪

1月5日、町内6カ所の観測点の積雪が平均で132.6cmとなり、12月28日に設置した豪雪警戒部から豪雪対策本部に切り替えました。